

トレックス・セミコンダクター株式会社

# 個人投資家向け会社説明会

アナログ半導体技術で世界に貢献する電源ICのプロフェッショナル集団



私たちトレックス・セミコンダクターは  
**小型化・省電力化**で

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2015年1月20日

# 1 会社概要

事業内容  
電源ICへの思い  
主力製品群  
採用製品例

ビジネスモデル  
特徴  
提供価値

# 2 市場動向

アナログ半導体市場規模  
アナログ電源IC市場規模  
当社の位置付け

競合動向  
将来の目標

# 3 第20期の業績 (2015年3月期)

上半期の実績  
アプリケーション別実績  
売上高推移

営業利益推移  
通期の予想

# 4 今後の展望

中期経営目標  
主要アプリケーション別売上構成比  
セグメント別売上拡大計画

# 5 還元方針

基本方針  
配当額

# 1 会社概要

事業内容  
電源ICへの思い  
主力製品群  
採用製品例

ビジネスモデル  
特徴  
提供価値

# 2 市場動向

アナログ半導体市場規模  
アナログ電源IC市場規模  
当社の位置付け

競合動向  
将来の目標

# 3 第20期の業績 (2015年3月期)

上半期の実績  
アプリケーション別実績  
売上高推移

営業利益推移  
通期の予想

# 4 今後の展望

中期経営目標  
主要アプリケーション別売上構成比  
セグメント別売上拡大計画

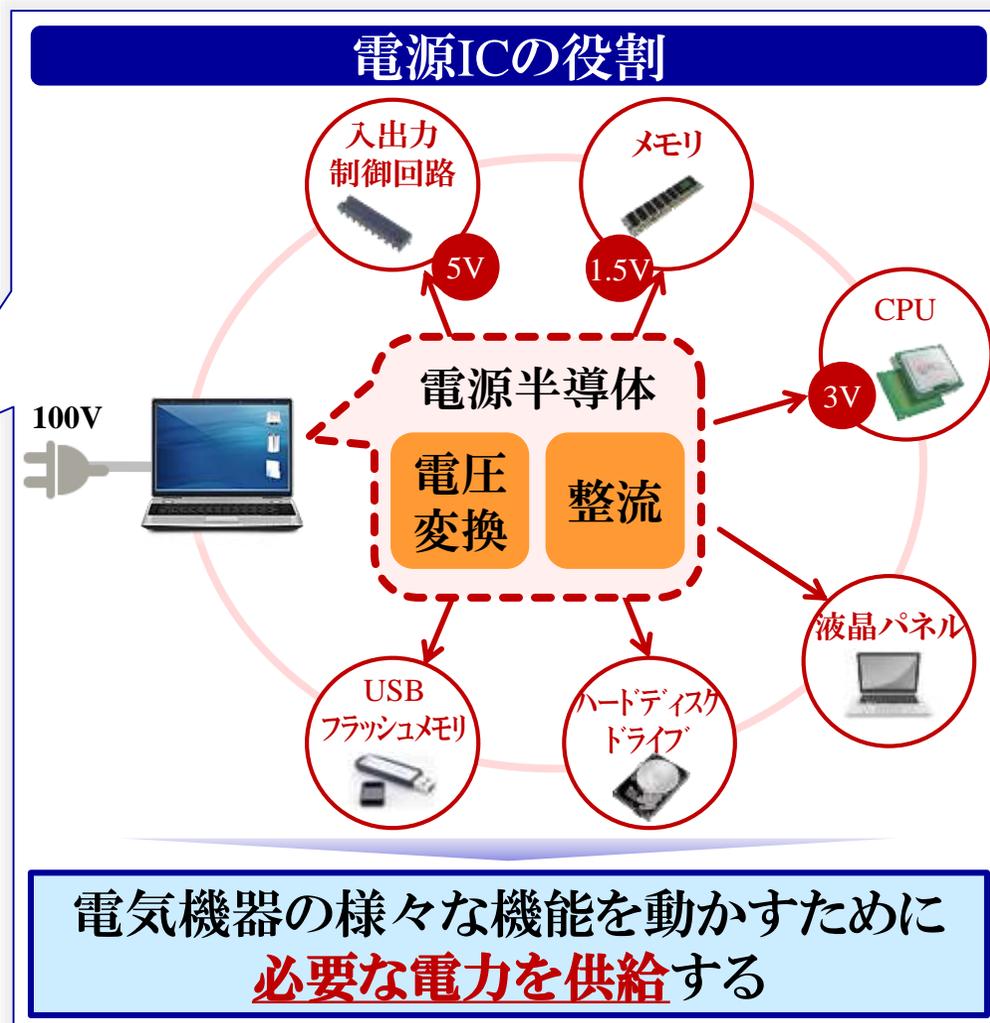
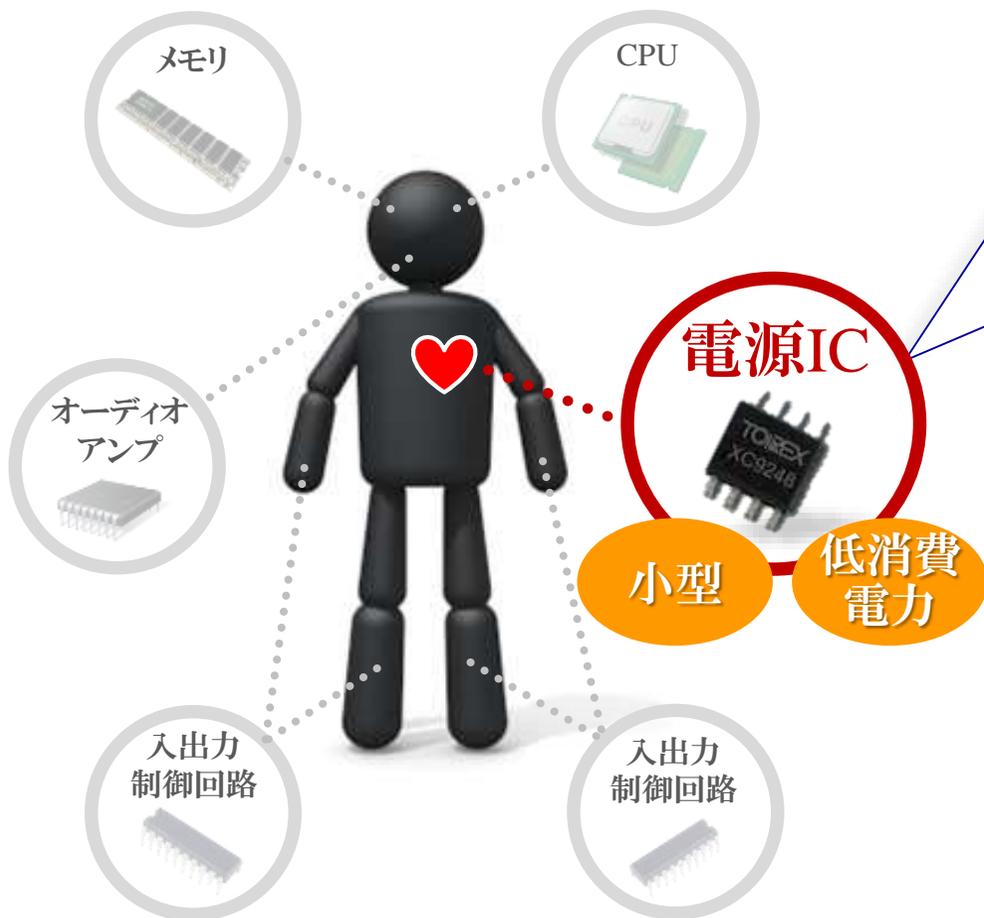
# 5 還元方針

基本方針  
配当額

# 事業内容

電気機器の「心臓」の役割を担う、**小型・低消費電力**（業界トップクラス）の電源ICを開発・販売しています。

半導体の種類(例)



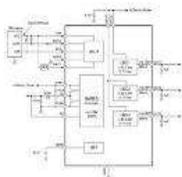
# 電源ICへの想い

電気機器の小型化・省電力化に“電源”という観点から貢献することで企業理念の体現を目指しています。

理念

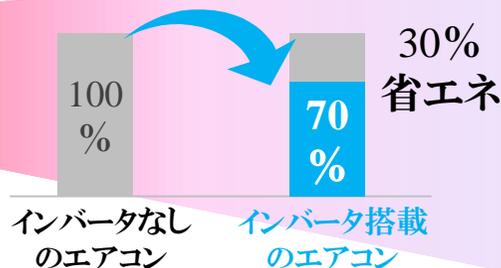
## 回路設計

部品配置最適化  
回路構成をシンプルに



省電力化

エアコンの消費電力量



【出典】ダイキンHPより

## パッケージ

部品を集約  
放熱性能を向上



小型化



機器の小型化

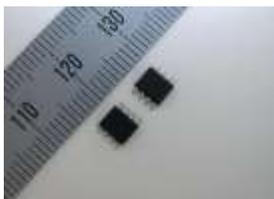


豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献

# 主力製品群

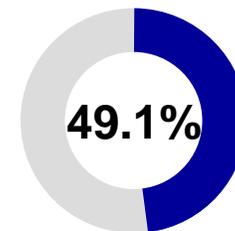
VR、DC/DC、VDが当社の主力製品です。

## VR



Voltage Regulatorの略(電圧レギュレータ)  
入力電圧を希望の出力電圧に変換

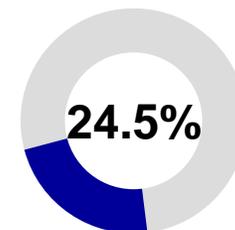
(2014年3月期実績)



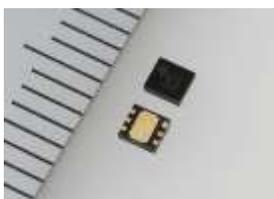
## DC/DC



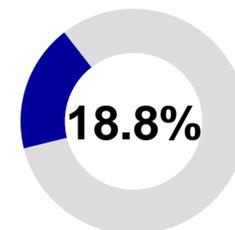
DC/DC Converterの略  
出力電圧が常に一定となるように制御



## VD



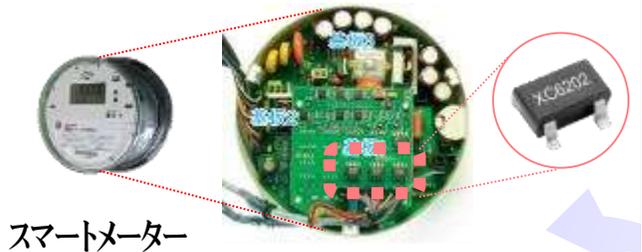
Voltage Detectorの略(電圧検出器)  
入力電圧を常に監視  
設定電圧以下となった時にアラームを出す



# 採用製品例

電気を必要とする機器には全て、電源ICが使われています。

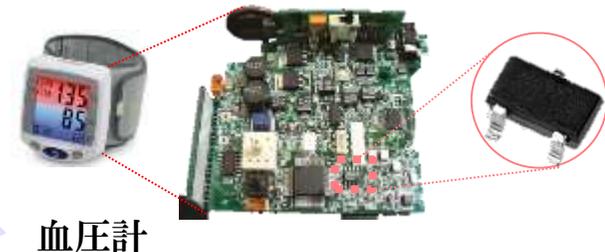
## IND (産業機器)



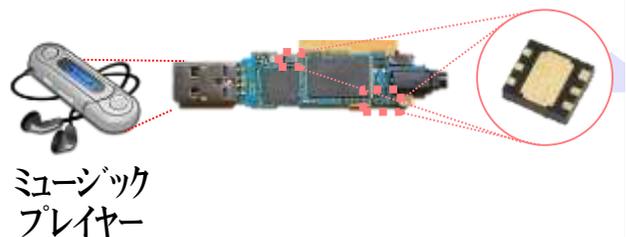
## CAR (車載機器)



## MED (医療機器)



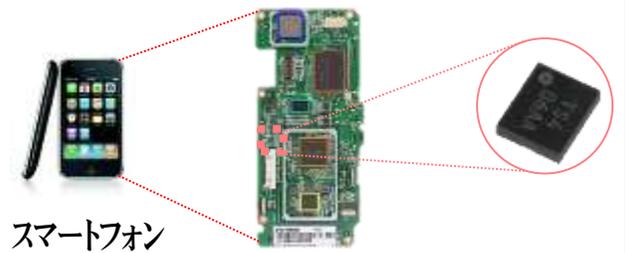
## AV (デジタル家電機器)



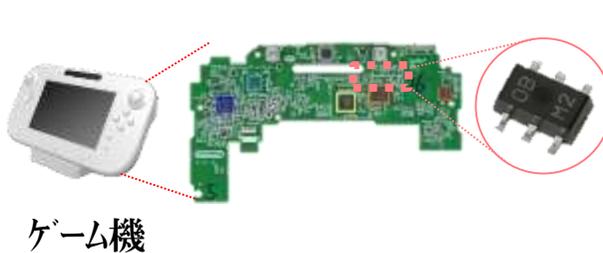
## PC (PC、PC周辺機器)



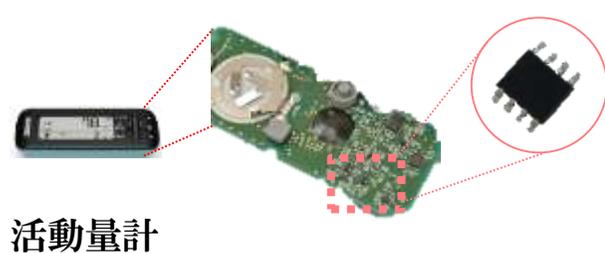
## COM (コミュニケーション機器)



## AMU (アムusement機器)



## HOM (生活家電・健康機器)



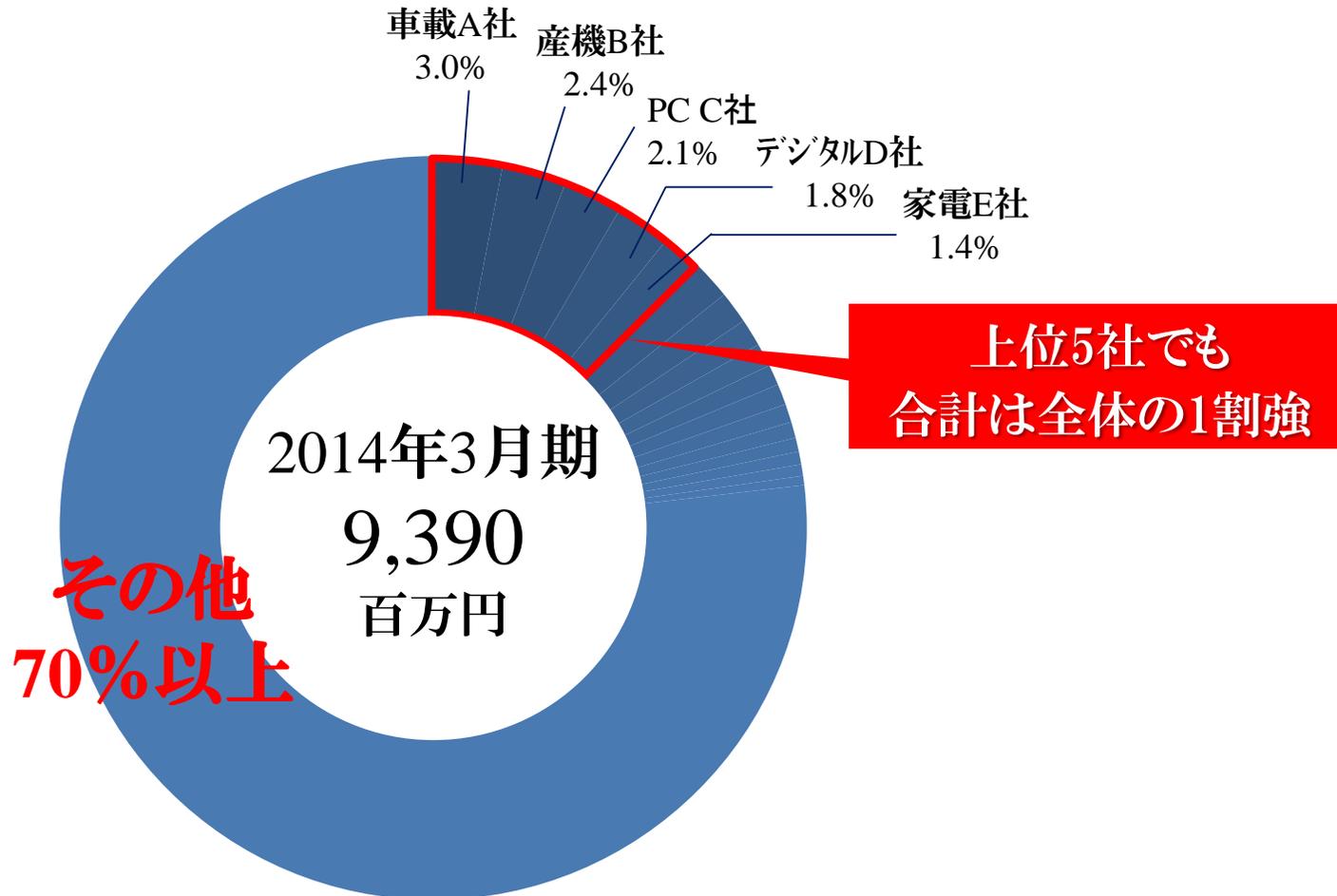
# ビジネスモデル(1/2)

単価数円の製品を、多くのお客さまに年間数万～数千万個の単位でご購入いただいております。

	平均単価	お客さま数	平均購入数量	売上高(2013年度)
 VR	10円	× 5,000社	× 10万～20万個	= 46億円
 DC/DC	25円	× 1,500社	× 5万～10万個	= 23億円
 VD	10円	× 2,000社	× 5万～10万個	= 17億円
				その他製品で7億円
			合計	93億円

当社の製品は、様々な分野で非常に多くのお客さまにお使い頂いています。

## お客さま別売上構成(例)



# 特徴①：安定成長企業

着実に一つ一つの商談を積み重ね、堅実に成長していく企業です。



## 世界はアナログでできている

身の回りの光・音・電気は全てアナログ  
全ての機器でアナログ処理が必要



## 電子化の進展

機器の高性能化に伴う電子化が進展  
必要となる電源ICの種類・数も増大



## 一つ一つの商談の積み重ね

ライフサイクルは長いもので20年以上  
一つ一つの商談が安定売上を創り出す

## 堅実な成長の実現

不採算取引の見直しと、高付加価値  
領域へのシフトで収益を安定化

# 特徴②：プロフェッショナル集団

10

開発、販売にアナログ技術のプロフェッショナル集団を有しています。

## 回路設計に踏み込んだ提案

開発-FAE(\*1)による営業サポートの下、  
アナログ電源を知り尽くした営業集団が  
ソリューションとしての製品提案を実施しています

(\*1)Field Application Engineer (技術営業)



開発

製造

検査・物流

販売

サービス

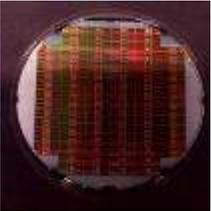


## アナログ電源IC設計に特化

1995年の創業から、アナログ電源ICという  
一つの分野を突き詰めてきたことで、  
高い専門性を有しています

# 特徴③：ファブレス

前工程をファブレスとすることで、経営環境の変化に対する柔軟性を確保しています。

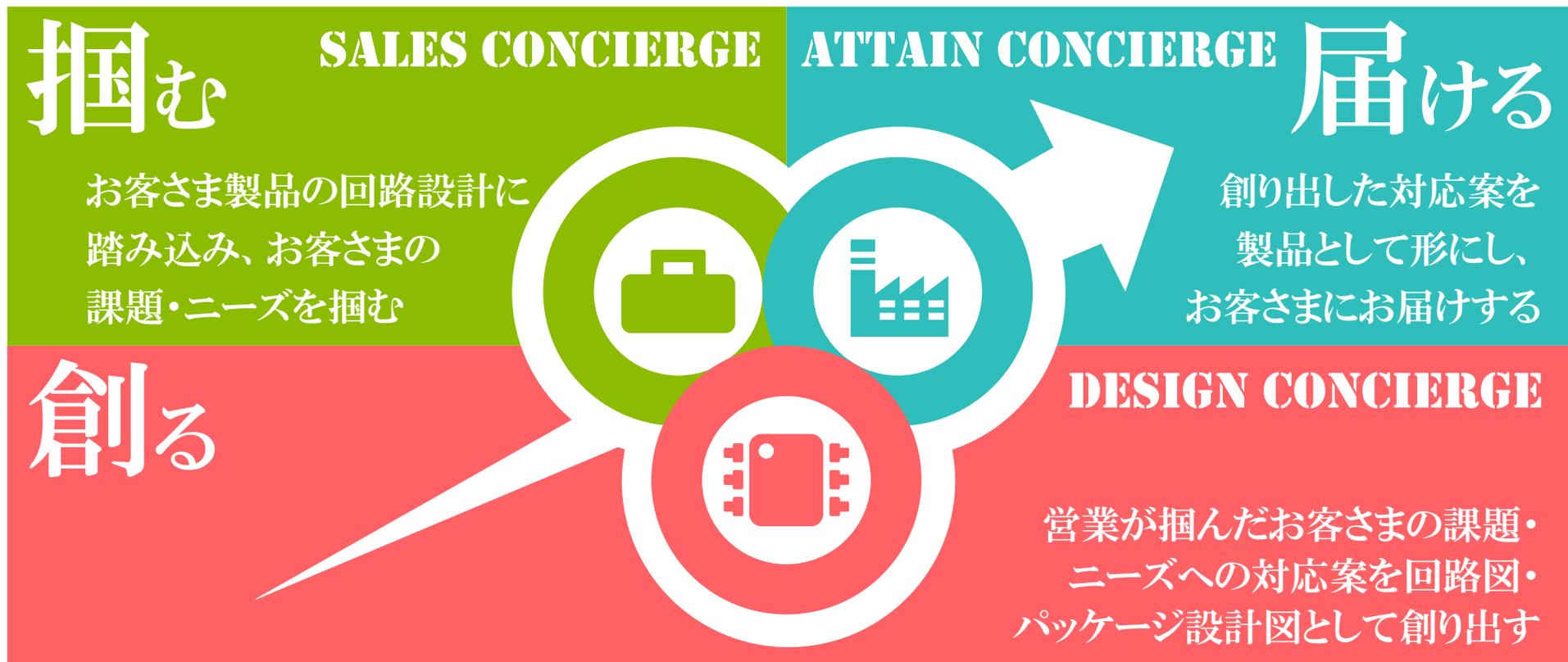
概要	選択肢	Quality	Cost		Delivery	
		品質	原価	投資額	納期	新技術 対応期間
 シリコン基板に回路を作り込む	自社所有	○	△	×	○	×
	ファブレス	△	○	○	△	○
 作り込まれた回路をパッケージに封入	自社所有	○	△	△	○	○
	ファブレス	△	○	○	△	△

**当社の選択**

**狙い**  
 多額の設備投資等、柔軟な意思決定の阻害要因を排除

# トレックスの提供価値(1/2)

当社は、営業・開発・製造が三位一体となったソリューションサービス Analog Tricier (アナログ・トリシエル) を提供しています。

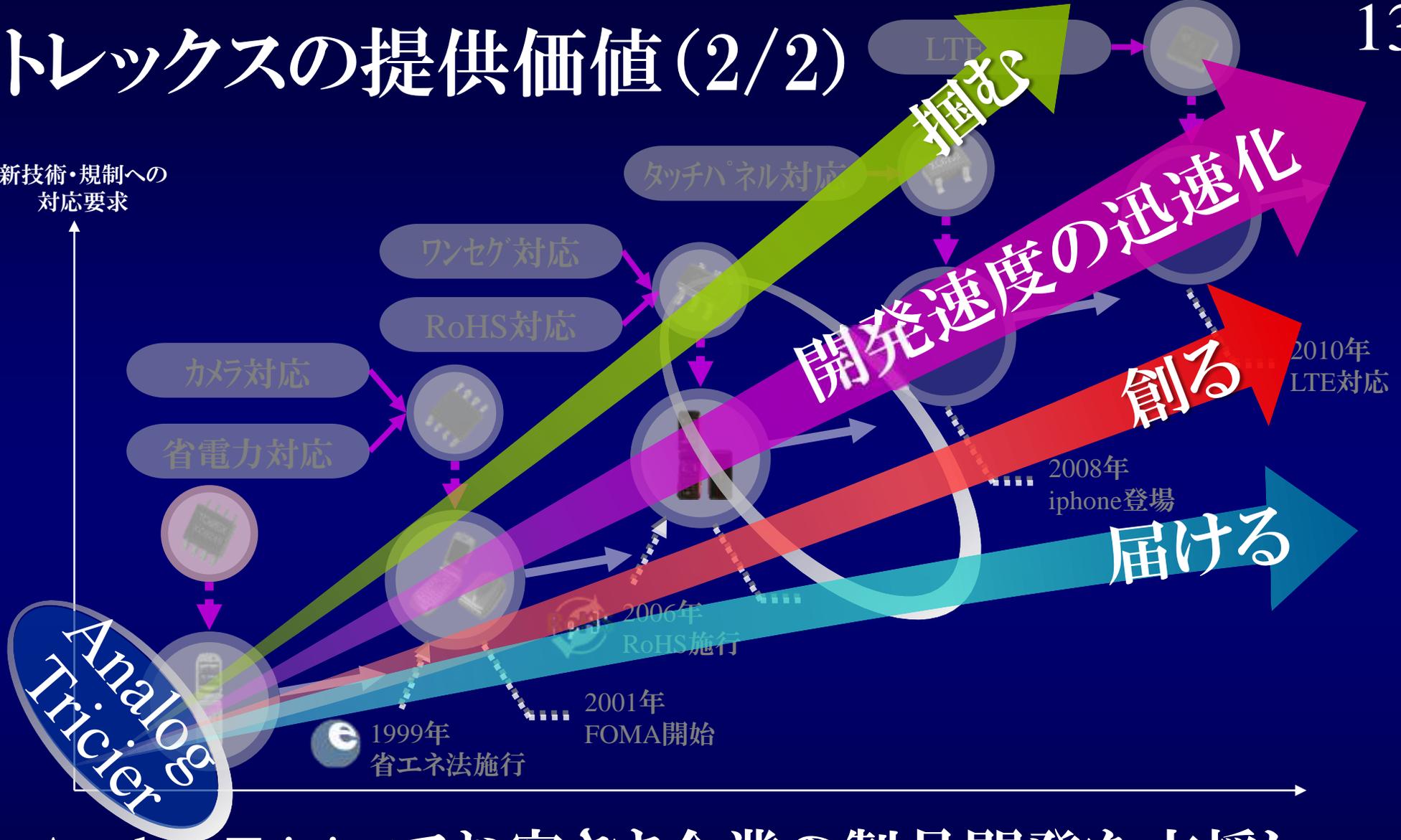


3つの (Triple) コンシエル  
(Concierge) が一体となったサービス

## Analog Tricier

# トレッスの提供価値 (2/2)

新技术・規制への  
対応要求



Analog Tricierでお客さま企業の製品開発を支援し、  
お客さま企業の開発速度の迅速化に貢献します。

# 1 会社概要

事業内容  
電源ICへの想い  
主力製品群  
採用製品例

ビジネスモデル  
特徴  
提供価値

# 2 市場動向

アナログ半導体市場規模  
アナログ電源IC市場規模  
当社の位置付け

競合動向  
将来の目標

# 3 第20期の業績 (2015年3月期)

上半期の実績  
アプリケーション別実績  
売上高推移

営業利益推移  
通期の予想

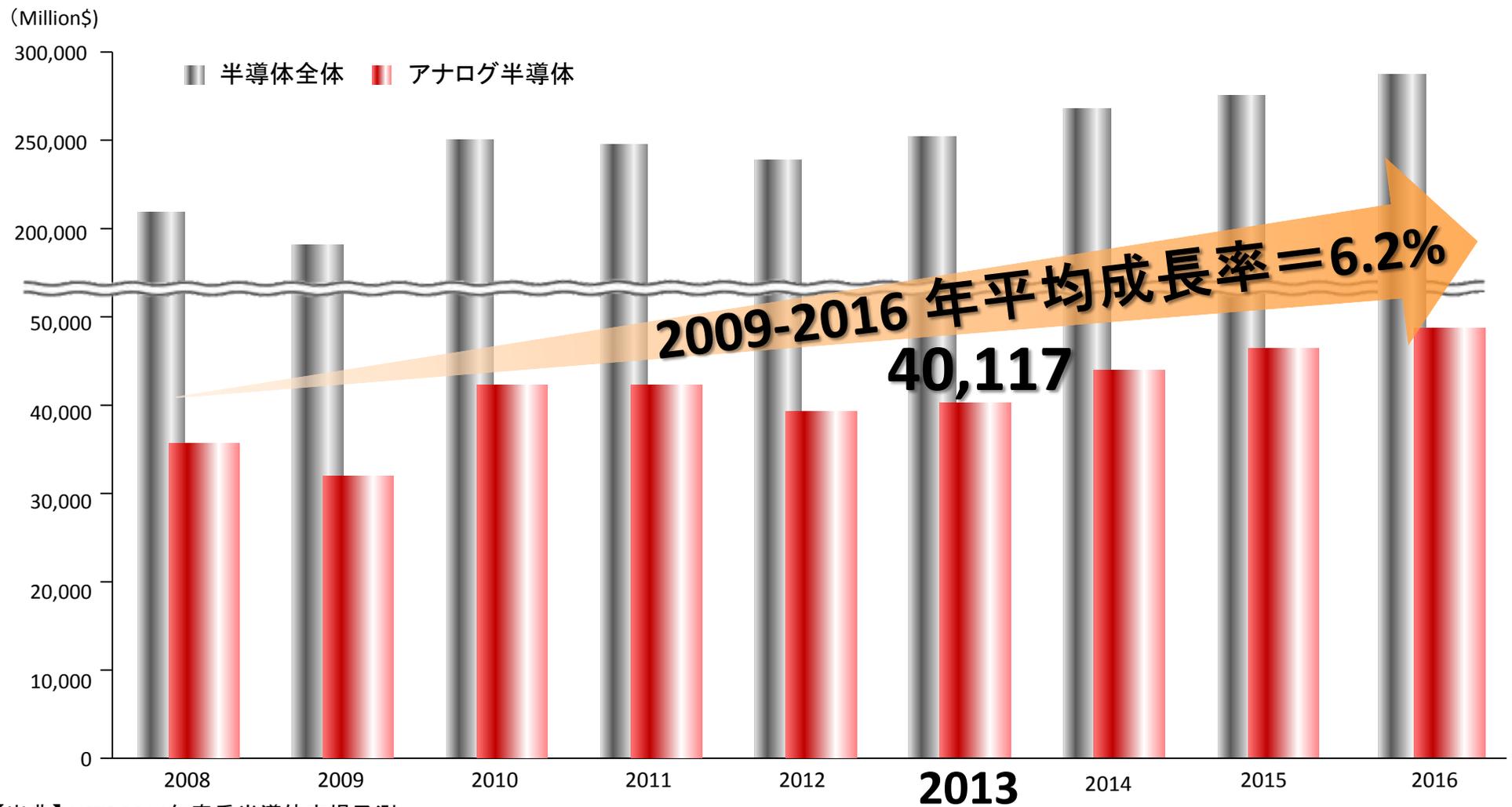
# 4 今後の展望

中期経営目標  
主要アプリケーション別売上構成比  
セグメント別売上拡大計画

# 5 還元方針

基本方針  
配当額

# アナログ半導体市場規模



【出典】WSTS 2014年春季半導体市場予測

アナログ半導体は4兆円市場(2013年時点)で、  
現在も拡大基調にあります。

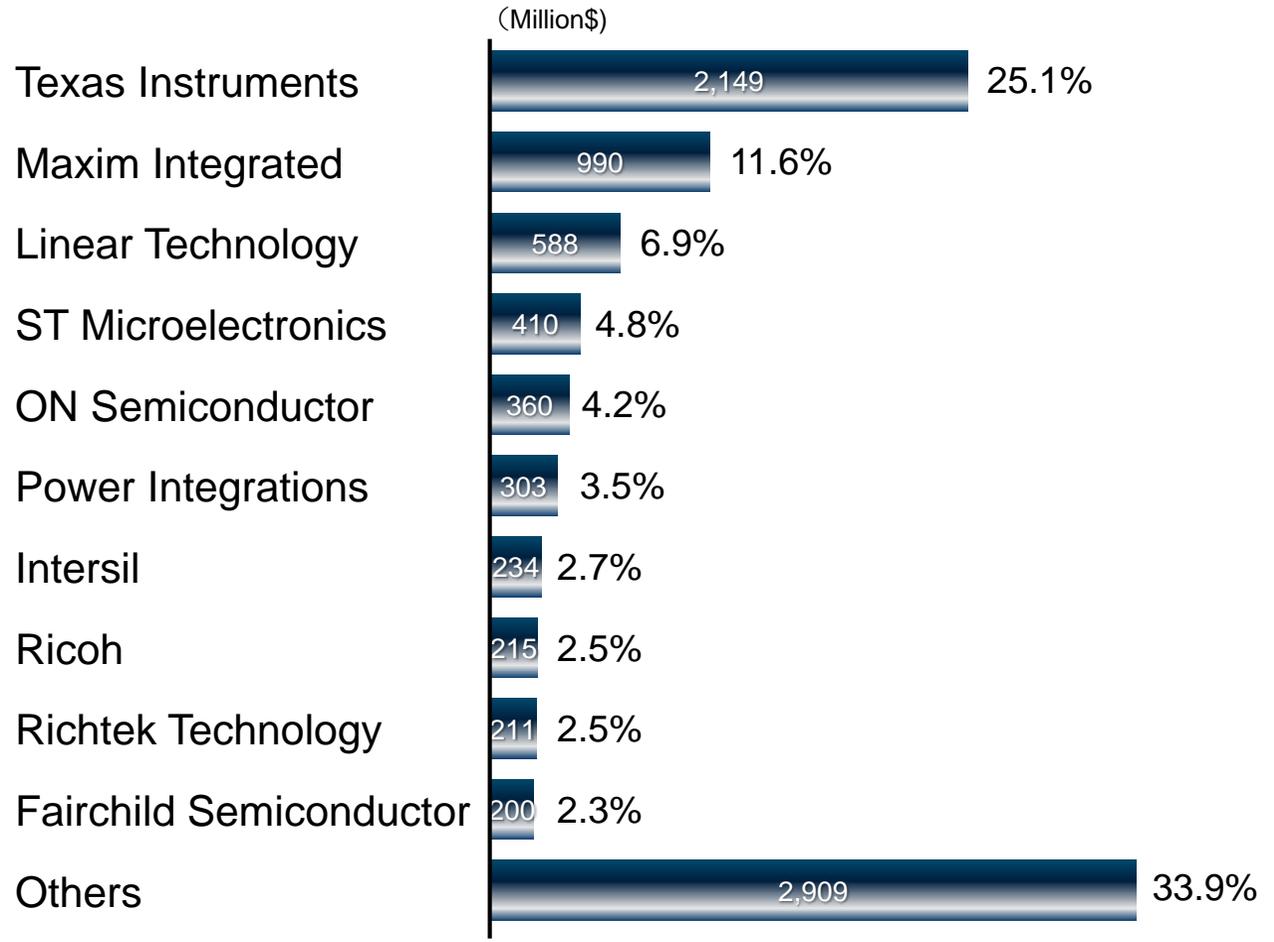
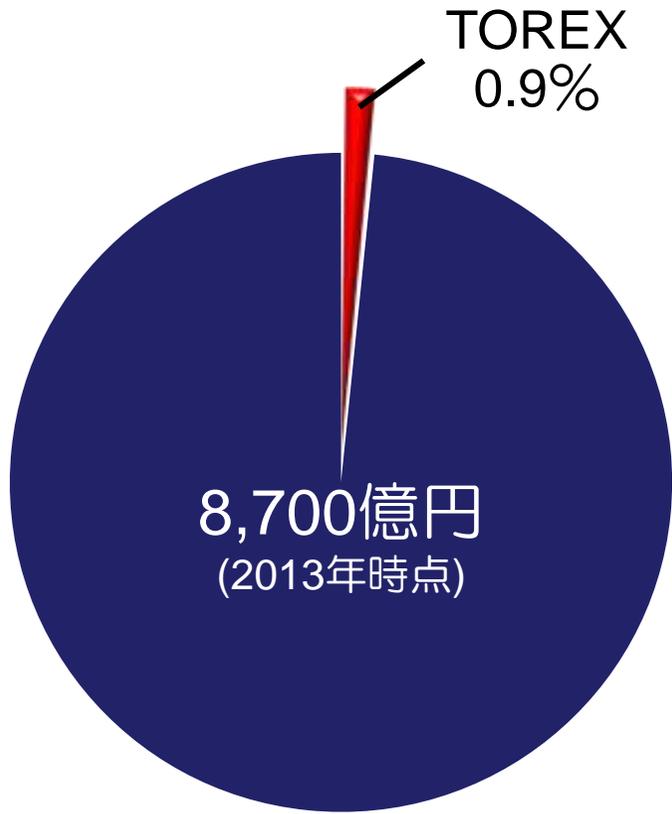
# アナログ電源IC市場規模



【出典】 IHS Global株式会社調べ (2014年)

アナログ電源ICは、半導体全体の中でも成長率の高い  
8,600億円市場(2013年時点)です。

# 市場における当社の位置付け



【出典】 IHS Global株式会社調べ (2013年)

他寡占市場等と比較して、絶対的な強者は存在せず  
市場占有率拡大の余地は大きいと考えています。

# 競合動向

(\*1)アナログ売上高はGartnerより  
(2012年暦年ベース)  
(\*2)アナログ比率は(\*1)算出時点での  
決算データを使用

	売上高	営業利益	アナログ 売上高(*1)	アナログ 比率(*2)	売上高 営業利益率
<b>当社</b>	<b>93.9</b> 億円	<b>14.1</b> 億円	<b>93.9</b> 億円	<b>100.0%</b>	<b>15.1%</b>
Texas Instruments	12,205 M\$	2,984 M\$	4,250 M\$	34.8%	24.4%
Analog Devices	2,634 M\$	783 M\$	2,049 M\$	<b>77.8%</b>	<b>29.7%</b>
Maxim	2,441 M\$	616 M\$	1,638 M\$	<b>67.1%</b>	<b>25.2%</b>
Linear Technology	1,282 M\$	573 M\$	1,213 M\$	<b>94.6%</b>	<b>44.7%</b>
ON Semiconductor	2,783 M\$	251 M\$	715 M\$	25.7%	9.0%
STMicroelectronics	8,050 M\$	△705 M\$	556 M\$	6.9%	△8.8%
Richtek Technology	372 M\$	372 M\$	372 M\$	<b>100.0%</b>	<b>19.1%</b>

アナログ比率の高い海外競合は高収益を達成しています。

## 将来の目標



営業利益率  
20%以上

01

## 売上の拡大

一つ一つの商談を積み重ね  
安定成長を実現

02

## 粗利の獲得

付加価値の高い製品・サービスを  
お客さまにご提供

03

## 効率の追求

適財適使用(てきざいてましよ)を念頭に  
使用経費・投資の効果を最大化

海外競合と同等の営業利益率を目指していく所存です。

# 1 会社概要

事業内容  
電源ICへの思い  
主力製品群  
採用製品例

ビジネスモデル  
特徴  
提供価値

# 2 市場動向

アナログ半導体市場規模  
アナログ電源IC市場規模  
当社の位置付け

競合動向  
将来の目標

# 3 第20期の業績 (2015年3月期)

上半期の実績  
アプリケーション別実績  
売上高推移

営業利益推移  
通期の予想

# 4 今後の展望

中期経営目標  
主要アプリケーション別売上構成比  
セグメント別売上拡大計画

# 5 還元方針

基本方針  
配当額

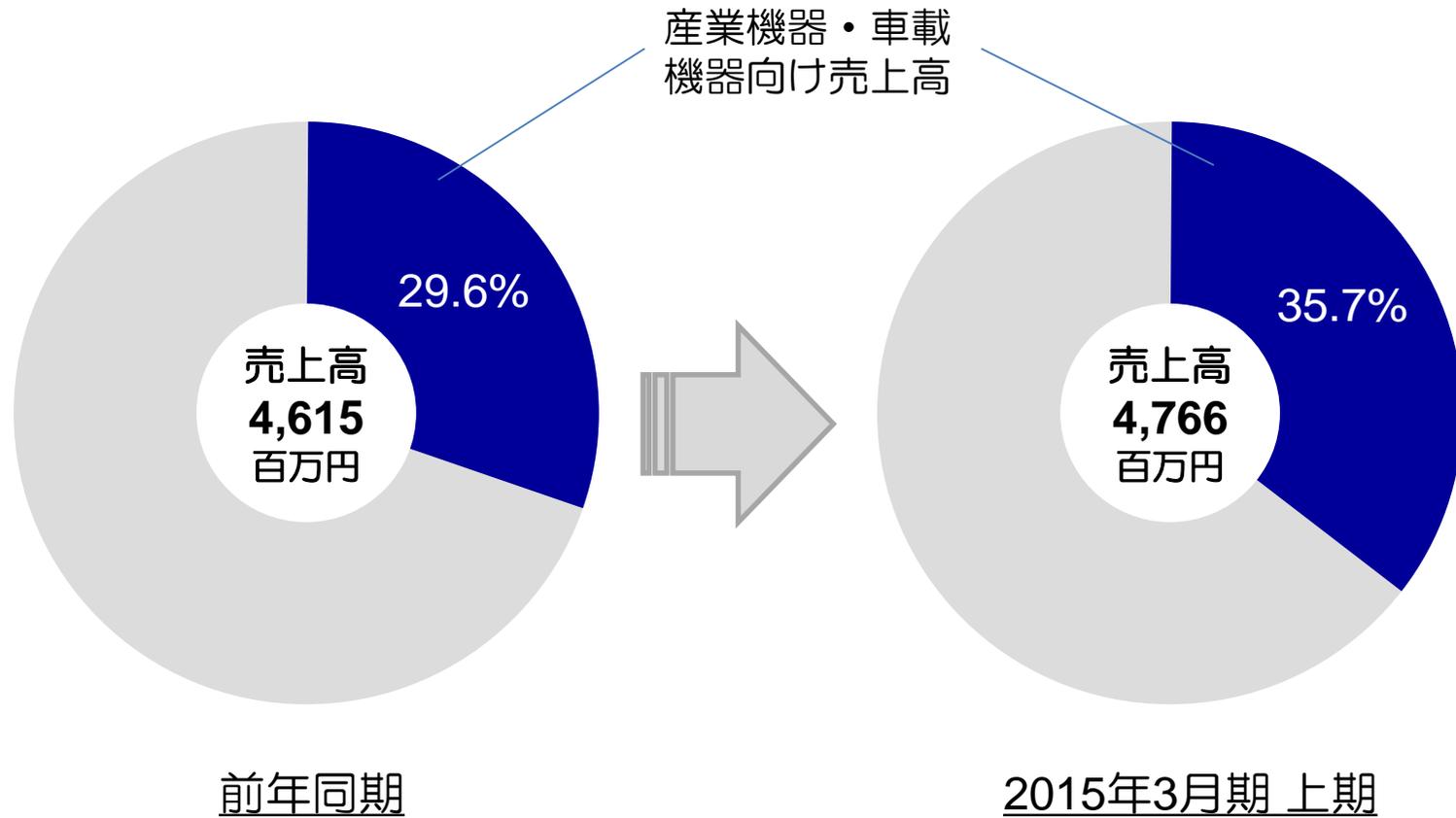
# 2015年3月期 上半期の実績

(単位：百万円)

科目	前年同期	第20期 上期実績	対前年 増減率(%)	第20期 上期予想	対計画 増減率(%)
売上高	4,615	4,766	+3.3	4,900	▲2.7
営業利益	685	569	▲16.9	640	▲11.1
経常利益	575	663	+15.3	610	+8.7
当期純利益	502	426	▲15.1	390	+9.2

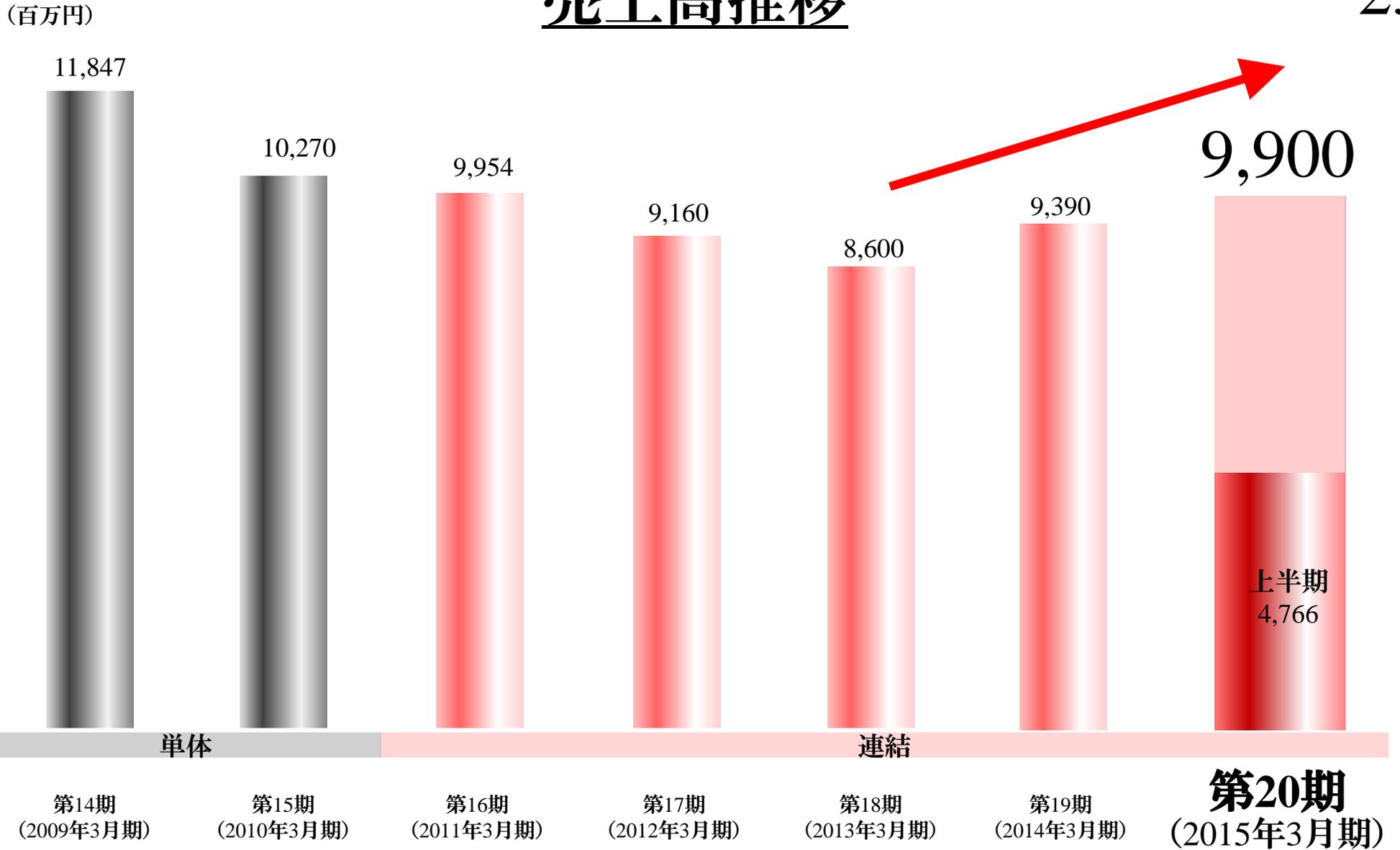
国内・アジアの民生機器向けの売上が予想を下回りました。  
為替レートが想定よりも円安となり、営業外で為替差益が  
発生しました。

# アプリケーション別実績



産業機器、車載機器向けの売上構成比が引続き上昇傾向です。

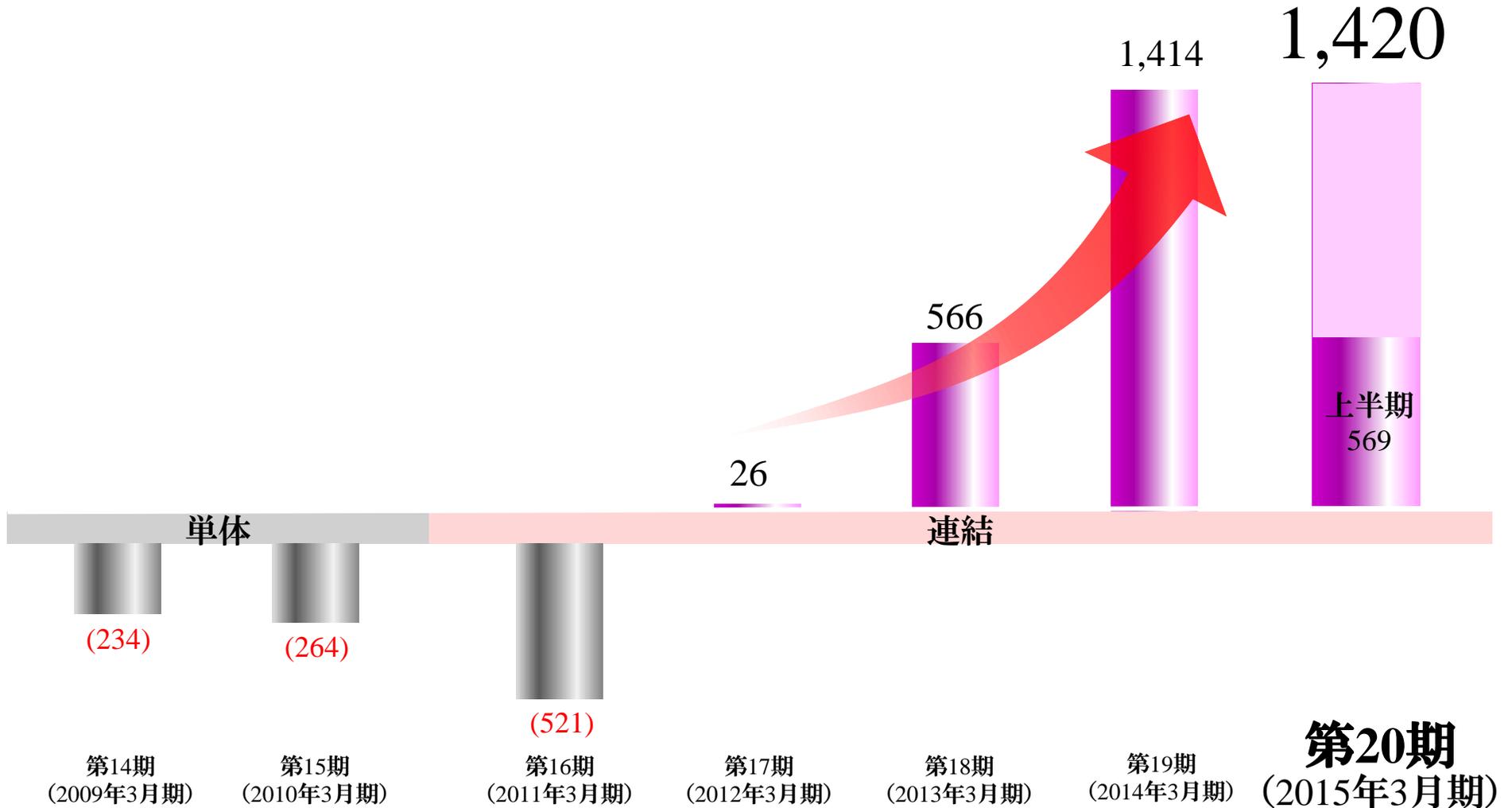
# 売上高推移



今年度も増収となる見通しです。

# 営業利益推移

(百万円)



先行投資で営業利益は前期並みとなりそうですが、  
経常利益は引き続き増益基調であります。

# 2015年3月期 通期の予想

(単位：百万円)

科目	前年同期	第20期 通期予想	対前年 増減率(%)	第20期 前回予想	対計画 増減率(%)
売上高	9,390	9,900	+5.4	10,400	▲4.8
営業利益	1,414	1,420	+0.4	1,500	▲5.3
経常利益	1,339	1,500	+12.0	1,500	0
当期純利益	1,357	1,100	▲18.9	1,100	0

繰越欠損金減少に伴い法人税等の負担が増す見込みのため、  
当期純利益は減益の予想です。

# 1 会社概要

事業内容  
電源ICへの想い  
主力製品群  
採用製品例

ビジネスモデル  
特徴  
提供価値

# 2 市場動向

アナログ半導体市場規模  
アナログ電源IC市場規模  
当社の位置付け

競合動向  
将来の目標

# 3 第20期の業績 (2015年3月期)

上半期の実績  
アプリケーション別実績  
売上高推移

営業利益推移  
通期の予想

# 4 今後の展望

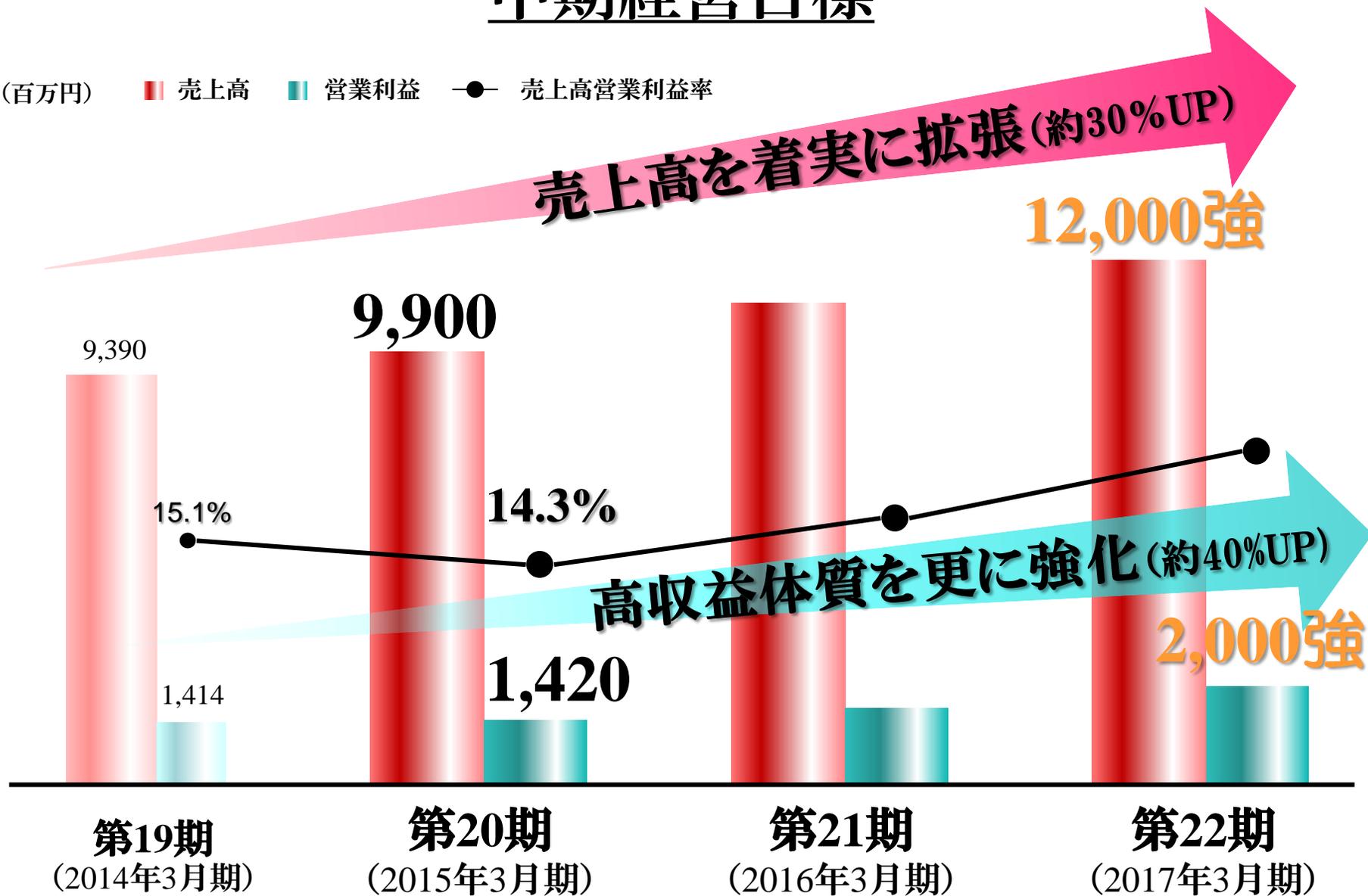
中期経営目標  
主要アプリケーション別売上構成比  
セグメント別売上拡大計画

# 5 還元方針

基本方針  
配当額

# 中期経営目標

(百万円) ■ 売上高 ■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



売上の着実な成長と更なる高収益体質の強化を図ります。

# 主要アプリケーション別売上構成比

IND:産業機器

CAR:車載機器

AMU:アミューズメント機器

PC:PC、PC周辺機器

COM:コミュニケーション機器

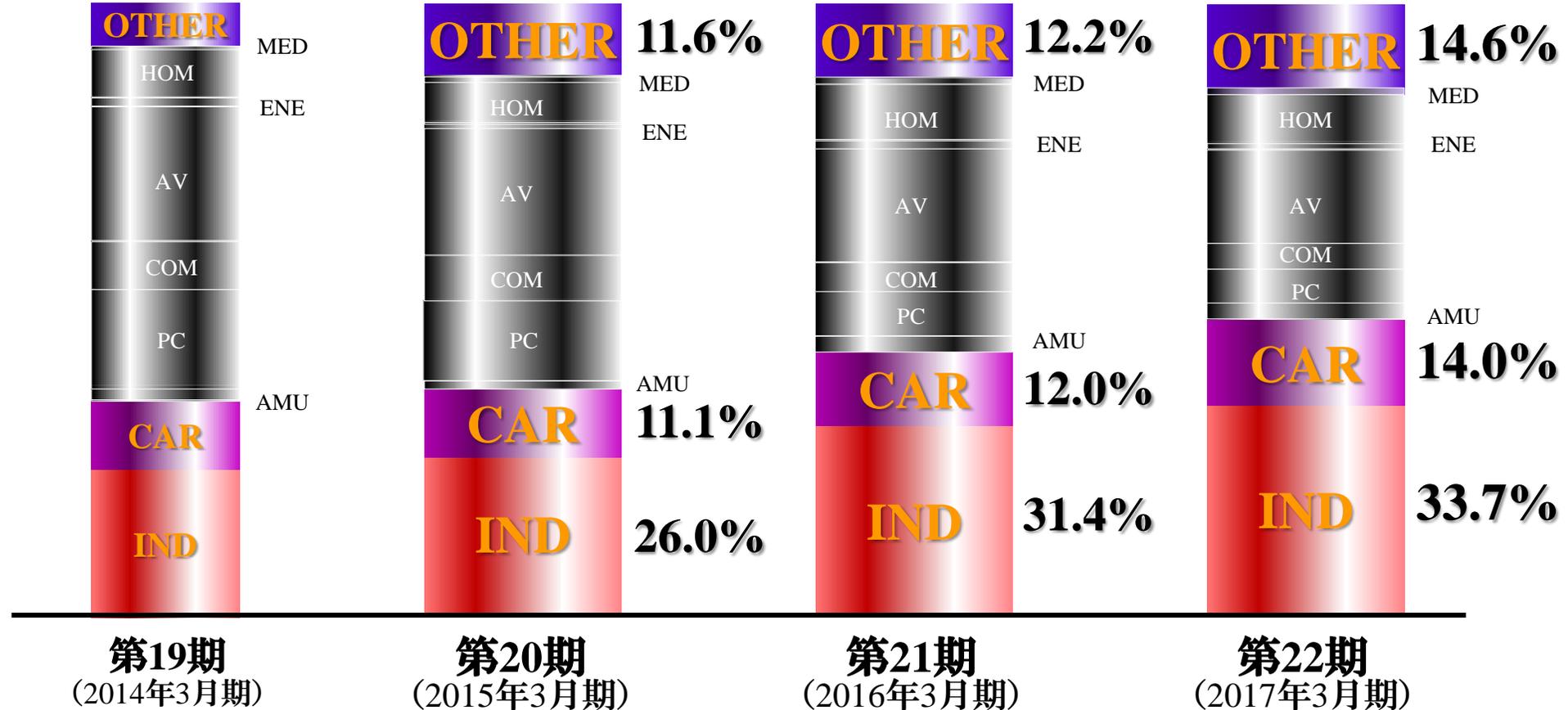
AV:デジタル家電機器

ENE:充電機器

HOM:生活家電・健康機器

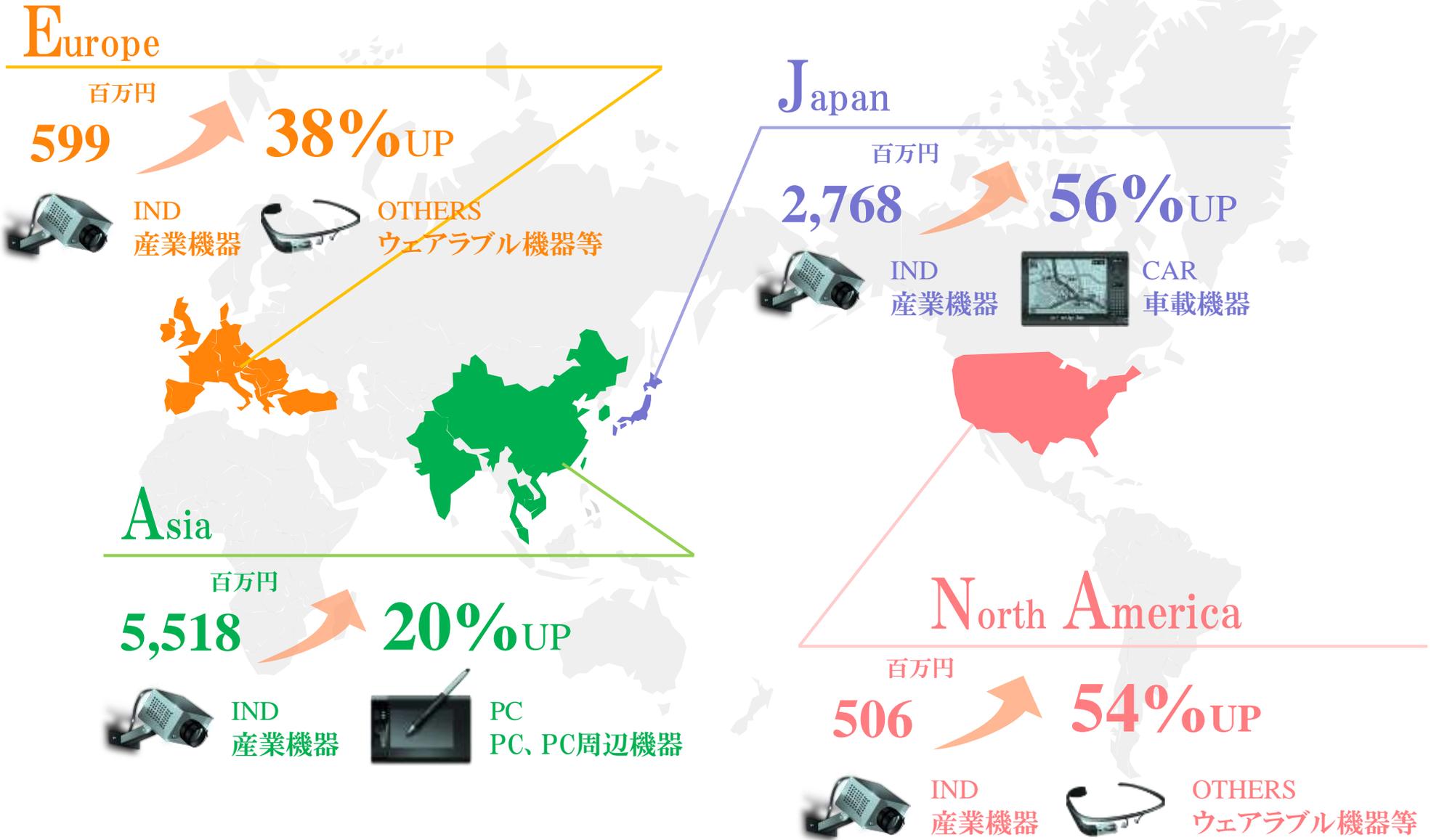
MED:医療機器

OTHER:その他(ウェアラブル機器等)



産業／車載／医療／ウェアラブル機器等を中心に  
売上・利益拡大を目指します。

# セグメント別売上拡大計画



各地域の特性や営業人員等の状況に応じた拡販戦略を展開します。

# 1 会社概要

事業内容  
電源ICへの思い  
主力製品群  
採用製品例

ビジネスモデル  
特徴  
提供価値

# 2 市場動向

アナログ半導体市場規模  
アナログ電源IC市場規模  
当社の位置付け

競合動向  
将来の目標

# 3 第20期の業績 (2015年3月期)

上半期の実績  
アプリケーション別実績  
売上高推移

営業利益推移  
通期の予想

# 4 今後の展望

中期経営目標  
主要アプリケーション別売上拡大計画  
セグメント別売上拡大計画

直近の業績

# 5 還元方針

基本方針  
配当額

# 基本方針

- ① 業績に連動した利益還元を目指します
- ② 配当性向年間20%以上の実現継続を目指します
- ③ 中期経営計画の達成による  
中期的な企業価値の向上を目指します

# 配当額

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	0円00銭	40円00銭	40円00銭
配当予想	<b>50円00銭</b> (普通配当 40円00銭) (記念配当 10円00銭)	<b>50円00銭</b> (普通配当 40円00銭) (記念配当 10円00銭)	<b>100円00銭</b> (普通配当 80円00銭) (記念配当 20円00銭)

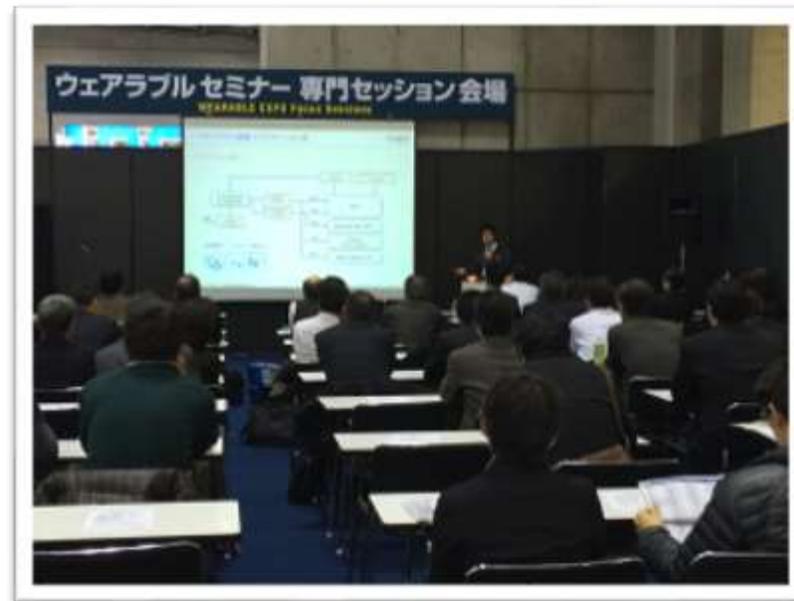
株主のみなさまへの利益還元に向けて  
増配を実施させていただきます。

# 「第1回ウェアラブルEXPO」に出展しました<sup>33</sup>

1月14日～16日 東京ビッグサイト



当社展示ブース



技術セミナー

ウェアラブル機器に最適な超低消費電流DC/DCコンバータ等の製品をご紹介し、多くの皆様にご来場いただきました。

# Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、  
市場に適応した価値ある製品を創出し、  
豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献するとともに、  
私たちの事業に携わるすべての人々が  
共に繁栄すること



速やかな本則市場への移行を目指し、  
みなさまのご期待に沿える経営を志向し続けます。

本資料に記載された内容は、2015年1月20日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。